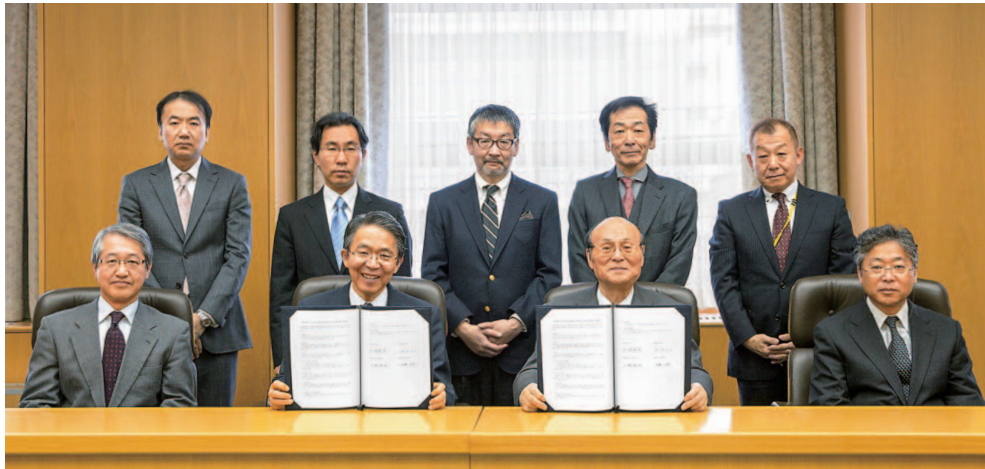




前列右から、北海商科大学商学部・伊藤昭男教授、同大森本正夫学長(学校法人北海学園理事長)、本学安酸敏眞学長、人文学部長・上野誠治教授、後列右から、北海商科大学・葛西史康事務長、同大入試・広報センター長・堂徳将人教授、本学人文学部・郡司淳教授、同・柴田崇教授、同・藤井勝彦事務長



北海道社会保険労務士会・村上三基夫会長(左から2番目)と同・西林寛昌副会長(左)、安酸学長、大学院経営学研究科長・大平義隆教授

去る10月10日、北海道社会保険労務士会(以下、道社労士会)と本学大学院経営学研究科が、「社会保険労務士の受け入れに関する協定」を締結した。これを受け、本学大学院経営学研究科では平成30年度より、新たな推薦入学制度をスタートする。

推薦の対象となる社労士は、門資格のみならず、大学院で労務管理をより体系的に学ぶ必要性が認識されるようになった。また、専門的知識と判断力を幅広く身につけることも、労務管理の研究法についてもトレーニングする必要があることから、2008年度より、全国社労士会連合会では、明治大学大学院経営学研究科と

「社会保険労務士の受け入れに関する協定」は、社労士試験合格後、3年以上の実務経験を有する者。また、入学試験については、道社労士会の推薦に基づいて、書類審査および面接試験を行う。

社労士は労務管理のプロフェッショナルとして、さまざまな企業経営の現場で活躍する存在だが、昨今では専門資格のみならず、大学院で労務管理をより体系的に学ぶ必要性が認識されるようになった。また、専門的知識と判断力を幅広く身につけることも、労務管理の研究法についてもトレーニングする必要があることから、2008年度より、全国社労士会連合会では、明治大学大学院経営学研究科と

北海道社会保険労務士会と本学経営学研究科 社会保険労務士に受け入れ協定

北海商科大学商学部と本学人文学部が11月9日、単位交換協定を締結した。これに基づき、必要な手続を経て、両学部の学生が相互に相手学部の授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。

このことにより、本学人文学部の学生に対しては、学部の歴史・文化に対する幅広い学びを目指す学生の修学を強化する。一方、北海商科大学の学生に対しては、教養教育の発展・応用的な強化を図ることにより、アジアの歴史・文化に対する幅広い学びを目指す学生の修学を強化する。

学術と実務の両面から学生支援を強化

北海商科大学 単位交換協定 本学人文学部

主な記事	
法学部・宮田光史准教授「皇太子の馬車が向かった先は？」	2面
北海学園大学研究助成事業報告③ 経営学部 大平義隆教授	3面
開発研究所 海外協定校連携シンポジウム	4面
経済学部 フロンティア講座はじまる	5面
学園人脈記 第2回 彩木雅夫氏	6面
「ニュージールランド留学体験記」河崎秋子	7面
平成29年度 保護者懇談会	8面

北海学園大学同窓会(豊平会) 同窓会から学業優秀者へ奨学金給付



授与式に出席した給付学生、同窓会長をはじめとする同窓会役員、学長、各学部長、教育振興委員長

北海学園大学同窓会 第1種奨学金給付学生

学部/学科	学年	氏名
経済学部/経済学科	3年	藤澤 怜大
経済学部/経済学科	3年	岩下 裕
経済学部/地域経済学科	3年	水谷 有沙
経済学部/地域経済学科	4年	若狭 由恵
経営学部/経営学科	3年	永井 優生
経営学部/経営学科	2年	遠藤 菜里
経営学部/経営情報学科	3年	関根 惇斗
法学部/法律学科	4年	島 彩歌
法学部/法律学科	3年	内海 紘貴
法学部/政治学科	4年	田中乃都佳
法学部/政治学科	4年	鈴木 樹
人文学部/日本文化学科	4年	上野 梨乃
人文学部/日本文化学科	4年	外館 翔太
人文学部/英米文化学科	4年	太田 莉央
人文学部/英米文化学科	4年	和久井雅斗
工学部/社会環境工学科	3年	中村 皓平
工学部/建築学科	2年	峰田 雪色
工学部/電子情報工学科	2年	荒木関和奏
工学部/生命工学科	3年	渡邊 大貴

9月20日、同窓会(豊平会)は、優秀な学業成績をあげたことが認められた学生19人を第1種奨学生として認定した。森本正夫同窓会長(学校法人北海学園理事長)は、奨学生にたいして、くれぐれも健康に留意して学業に励んでほしいとの期待を述べ、一人ひとりに認定証を授与した。

その文面は以下の通り。

「あなたは、学生の本分を守り、勉勵に努め学業成績が特に優れていることを讃えて平成29年度奨学生に認定します。当会奨学制度の趣旨を理解し、引き続き学業に精励してください。」

「社会保険労務士の受け入れに関する協定」を締結。それ以降、こうした協定が、全国の都道府県社労士会へと広がっている。

北海道社労士会でも、人事労務に関する科目のある本学大学院経営学研究科との協定を打診。今回の調印が実現することになった。また、現会長が本学卒であること、会員の多くも本学卒であり、交通の便がよい本学ならば、希望者の増加や社労士のレベル向上にもつながるとして期待を寄せている。

この協定は、本学にとって社会的な貢献の機会であるとともに、社会経験豊かな社労士の入学が、在学生への刺激にもつながればと期待されている。

安酸学長式辞(要旨)

秋のこの佳き日に、卒業になる院生・学生の皆さま、ご卒業を心からお慶びを申し上げます。

「自分が卒業した学校」のことを、日本語では母校といいますが、これはalma mater(アルマ・マータ)というラテン語に由来します。マータというのは「母」という意味です。alma materは「nourishing mother」つまり「養育を与える(親愛な)母」とウォッチし、必要な時にはご援助を。

アルマ・マータ

秋のこの佳き日に、卒業になる院生・学生の皆さま、ご卒業を心からお慶びを申し上げます。

「自分が卒業した学校」のことを、日本語では母校といいますが、これはalma mater(アルマ・マータ)というラテン語に由来します。マータというのは「母」という意味です。alma materは「nourishing mother」つまり「養育を与える(親愛な)母」とウォッチし、必要な時にはご援助を。

卒業証書・学位記授与

平成29年度9月期卒業生・修了生数	
学部	卒業生
経済学部	1部 経済学科 1 2部 地域経済学科 12 経済学科 6 2部 地域経済学科 8
経営学部	1部 経営学科 4 2部 経営情報学科 5 経営学科 4
法学部	1部 法律学科 2 2部 政治学科 10 法律学科 6 政治学科 4
人文学部	1部 日本文化学科 2 2部 英米文化学科 3 日本文化学科 0 英米文化学科 2
工学部	社会環境工学科 2 建築学科 7 電子情報工学科 1 生命工学科 1 1部 計 38 2部 計 44 計 82
大学院修了生	
法学研究科 政治学専攻博士(後期)課程	1

繰り返される宇宙 ループ量子重力理論が明かす新しい宇宙像

マーチン・ボジョワルド著／前田秀基工学部教授訳

宇宙は本当にビッグバンから始まったのか。宇宙誕生のメカニズムを解明する期待されている。最新の量子重力理論が、初めて明らかにされている。この理論の全貌と想像を膨らませる宇宙の物語。

定価 本体三、〇〇〇円＋税

白揚社

ただの黒人であることの重み ニール・ホルム詩集

ニール・ホルム著／大森一輝人文学部教授訳

世界中で注目を集めるアフリカ系米国の詩人が、移民生活やヘイトスピーチで揺れる現代に、差別や偏見と向き合う詩を綴る。日本の読者のために、詩人自身が編み込んだ厳選詩集。初の邦訳出版。

定価 本体一、〇〇〇円＋税

彩流社

海賊史観からみた世界史の再構築

交易と情報流通の現在を問い直す

稲葉繁実編／テレンス・アイトル人文学部教授ほか分担執筆

本書は、文化・経済・社会・政治の海賊史観を軸に、再構築する。その目的は、国際関係文化研究センターで行われた共同研究の報告書である。修業に際して、日本・中国・その交差点をめぐって、(デシエンタメント)を。

定価 本体一四、〇〇〇円＋税

思文閣出版

事例で学ぶ民法演習

松久三四彦(法務研究科・法科大学院教授)他共著

民法の基礎を具体的な事例の適用を通して学ぶ。入門から法曹部生・法科大学院生まで選り抜かれた、数問と丁寧な解説により、民法に親しみ、民法をより理解するための最適な教材。

定価 本体二、八〇〇円＋税

成文堂

時効判例の研究

松久三四彦(法務研究科・法科大学院教授)著

時効制度の構造・解釈を、具体的事例を基に、広範なケースから考察。豊富な判例・事例を基に、わかりやすく解説。内容で、学習・実務から研究にまで幅広く活用できる有用な書。

定価 本体二、〇〇〇円＋税

信山社

北東アジアにおける帝国と地域社会

白木沢 旭児 編著／辻弘毅(経済学部教授)他共著

ロシア・中国・韓国・日本という3つの帝国が勢力圏を拡大した19世紀から20世紀半ばの北東アジア。満洲や朝鮮、台湾などを支配する側の問題と、重視しつつ地域社会を再構築する。

定価 本体八、二〇〇円＋税

北海道大学出版会

自動車リユースとグローバル市場

中古車・中古品の国際流通

浅妻 裕(経済学部教授)他共著

日本国で使われていた中古車・中古品の国際的なリユースについて流通面を中心に考察する。商品調達から輸出入、商品の仕向地の決定、そして日本の中古車の国際市場の動向をまとめた一冊。

定価 本体二、八〇〇円＋税

成山堂書店

法学部准教授

官田 光史



先日、中島公園の豊平館を初めて訪ねました。日本近現代史を専攻している自分としては、ぜひ見学してみたい場所でした。

まず驚いたのは外観・内装の豪華さです。明治の建設当初から戦後に至るまでの展示も充実していて勉強になりました。そのなかで二階の広間に掛けられていた一枚の絵画に目を奪われました。馬車に乗った軍装の貴人とお供の行列。銘板には本間莞彩作「皇太子殿下(大正天皇)豊平橋御通過の図」とあり

トピックス49

皇太子の馬車が向かった先は？

九日のごとです。

この馬車が向かった

先は北海中学校だったのです。うか。もしそうなら、これは近現代史を身近に感じられる授業の素材が隠れているかもしれません。確かめるために史料を探しました。



豊平館の絵画(筆者撮影)

して絵画の制作が莞彩に依頼されたのです。画題について説明してもよいかもしれませんが、その二九日付の『北海タイムス』によると、皇太子は二五連隊で将校たちの剣術試合を観戦するなどの様子です。それにしても、なぜ馬車が向かった先は二五連隊だったのでしょうか。日中戦争の最中という制作時の状況も気になるところです。一枚の絵画に興味は尽きません。

【専門・日本近現代史】

りました。

すると札幌市公文書館で「聖徳記念豊平館紀要」という一九四〇(昭和15)年ごろのパンフレットを見つけたことができました。一九三

一(明治四十四)年、皇太子の北海道行啓が八月一日から九月一日の日程で行われ、聖徳記念館を整備することになりました。その陳列品とて進まれる

ては次のように解説されていました。八月二八日午前二〇時半ごろ、大日本麦酒株式会社札幌支店工場より月寒歩兵第二五連隊に行啓される途中、豊平橋上を通過。市内及び近郷の奉拝者が人垣を築くあいだを行列が肅々として進まれる

北海学園大学開催 国際会議SCIS & IFS 2016 に対し 貢献賞受賞

工学部教授 山ノ井 高洋

本年9月13日から山形大学米沢キャンパスで開催の日本知能情報ファジィ学会年次大会ファジィシステムシンポジウムにおいて、昨日本学において開催した国際会議SCIS & IFS 2016の実行委員長として貢献賞を受賞し、さらに、10月11日から韓国大邱で開催したISIS 2017においても、同じく同会議実行委員長として貢献賞を受賞しました。

国際会議の発表経験につながり、今年の大津で開催のSCIS & IFS 2017では最優秀論文賞にノミネートされ、韓国のISIS 2017では優秀論文賞を受賞しました。

2016年の開催をお引き受けするにあたり、本学工学部教員大西真一教授、内田ゆず准教授にはスタッフとして頑張っていたいただいたほか、さまざまな方々の協力により、予定した参加者300名を超える盛会でした。

また、当日のスタッフとして、工学部の学生さんのみならず、人文系の学生さんにもお手伝いいただき、学生さん自身の語学の力を試す機会となったことと思います。

この2つの貢献賞受賞は、まさに北海学園大学の教職員・学生の皆さんで受けた賞と考えております。お世話になりました。



日本知能情報ファジィ学会貢献賞の表彰式

また、今日のスタッフとして、工学部の学生さんのみならず、人文系の学生さんにもお手伝いいただき、学生さん自身の語学の力を試す機会となったことと思います。

【スマホ編】総合ランキング(2017)

順位	大学名	総合スコア
1	東京工科大学	87.70
2	北海学園大学	80.73
3	明治学院大学	80.51
4	名古屋大学	80.29
5	福岡工業大学	78.73
6	東京電機大学	78.32
7	明星大学	77.63
8	日本工業大学	75.92
9	東京国際大学	75.70
10	長崎県立大学	75.17

【PC編】総合ランキング(2017)

順位	大学名	総合スコア
1	名古屋大学	98.42
2	東京工科大学	97.31
3	富山大学	92.85
4	北海学園大学	87.80
5	静岡国立大学	84.19
6	崇城大学	81.73
7	大阪府立大学	78.92
8	長崎県立大学	78.91
9	香川大学	76.86
10	愛知教育大学	76.82

この調査は、優れた大学サイト構築の指針を提示することを目的に2004年から実施されています。また、今日のスタッフとして、工学部の学生さんのみならず、人文系の学生さんにもお手伝いいただき、学生さん自身の語学の力を試す機会となったことと思います。

この2つの貢献賞受賞は、まさに北海学園大学の教職員・学生の皆さんで受けた賞と考えております。お世話になりました。



経済学部准教授 宮本 章史



大いにあります。例えば雇用の面でいえば、工場での定型業務に代わる機械が技術的に代替可能となる職業はいくつも指摘されています。そうした中、欧州の社会政策をめぐって注目を浴びているのが、「社会的投資(Social Investment)」ノベータティブなクリエイティブ

重手当や教育を実施し人材を育成すれば、彼/彼女らが機械には担えない仕事に就き、社会全体にとって正のリターンをもたらすと考えるわけです。

たとえば飯田泰之氏や井上智洋氏はこれからの社会の原動力のひとつとして、イノベーションなクリエイティブなことを求めないことをすすめています。社会的投資国家論で大切な点は、投資をした個々の相手に対して短期的なリターンを求めないことです。じっくり学び、ときには自分ひとりで考え、現実に対してオルタナティブな意見を持つこと、そしてその努力が社会の中で光るには、長い時間が必要だからです。視覚や聴覚にダイレクトに訴えかけるメディアが発達した現代だからこそ、私たちは抽象的な概念や人文知を学ぶ必要があるのです。

【専門・福祉経済政策】

政策思想としての社会的投資国家論

— 大学教育に注目して —

若者や現役層を対象とする社会政策や教育政策の充実を、いわばその人(人的資本)への社会的投資として考える、というものです。

もちろん、一人ひとりの生活そのものは多様であり、その尊厳が守られるための政策や制度は必要です。そのうえで、手厚く普遍的な見

ては次のように解説されていました。八月二八日午前二〇時半ごろ、大日本麦酒株式会社札幌支店工場より月寒歩兵第二五連隊に行啓される途中、豊平橋上を通過。市内及び近郷の奉拝者が人垣を築くあいだを行列が肅々として進まれる

【専門・福祉経済政策】

人文学部講師 森川 慎也



日系英国人作家カズオ・イシグロが脚光を浴びている。ノーベル文学賞受賞のニュースが流れた翌日、新聞社からイシグロに関する原稿の依頼が届いた。

最新のカズオ・イシグロ研究動向

本からは柴田元幸氏が参加した。学会当日サブライズでイシグロが登壇し、聴衆は彼の言葉に耳を傾けた。日本でも2014年に東京大学でイシグロ国際学会が開催され、国内外の研究者と共に「文学の挑戦」でイシグロの文学について講演する予定である。

同時代を生きた作家を研究することの醍醐味は、新作

ポジウムで『わたしを離さないで』に関する研究報告をしたり、イシグロ研究の成果を発信している。来年3月には本学人文系主催の第15回「文学の挑戦」でイシグロの文学について講演する予定である。

【専門・英文学】

【専門・英文学】

【専門・英文学】

close-up

本メディア受賞者に日

本メディア受賞者に日

本メディア受賞者に日

本メディア受賞者に日

本メディア受賞者に日

本メディア受賞者に日

「北海学園大学の研究力」オープン

このたびは北海学園大学のWebサイトに新たな特設サイト「北海学園大学の研究力」をオープンしました(https://rc-hgu.jp/)。総合大学である本学には幅広い研究領域の研究者がいます。これまで多くの研究課題に取り組み、その成果を社会に還元してきました。特設サイト「北海学園大学の研究力」では、本学の教員が取り組んでいる多種多様な研究テーマにスポットをあてつつ、今回取り上げた12名の研究者の人物や人間性も感じることができるようになっています。

【専門・英文学】

『ただの黒人であることの重み——ニール・ホール詩集』(大森一輝訳、彩流社、2017年)より。

経済学部

フロンティア講座はじまる

経済学部教授 森下 宏美



講師の株式会社マキ商会代表取締役・小川正人氏(右)と筆者

卒業生の話から大学生活の意義を考える

経済学部卒業生の方々をお招きしてお話を伺う「経済学部フロンティア講座」の第1回が、9月28日(木)に開催されました。講師は、株式会社マキ商会代表取締役の小川正人氏(右)と筆者。

取締役の小川正人さん(平成29年3月卒)。「北海学園大学に学ぶということ」――繋がり的重要性と題し、後輩である2部1年生約140人に、ご自身の学生時代の経験を語っていただきました。

最後に、幅広い分野で活躍している同窓生の繋がりが将来必ず役に立つこと、そのために進んでその輪に入ってほしいとエールを下さいました。1年生にとって、学生生活の意義を考えるよい機会となりました。

なお、この企画に際しては、北海学園大学同窓会、北海学園大学OB異業種ネットワークのお力添えをいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

平成29年

司法試験 2名合格

法務省から9月12日、平成29年司法試験の結果が発表され、本学法務研究科(法科大学院)から、野村由希子さんと長谷川亮一さんが合格した。

司法修習支援金給付

これから司法修習生として任に当たる野村さんと長谷川さんに対して9月22日、法務研究科長、教育振興委員長、大学院事務部長同席の下、学長(教育振興会長)から激励の言葉とともに司法修習支援金が給付された。また、9月30日には札幌グランドホテルで合格者祝賀会が開催され、難関を突破した二人を称えるとともに今後の活躍に期待が寄せられた。



司法試験合格した野村由希子さん(前列右)と長谷川亮一さん(前列左)

働きながら夢を実現

平成28年度 長期末修者コース修了 長谷川 亮一

私は、平成21年3月に北海道大学を卒業後、民間企業で3年間勤務しました。仕事は順調でしたが、司法試験という夢を捨てきれず、平成25年4月に、北海学園大学法科大学院長期末修課程(夜間4年コース)に入学し、今年の3月に卒業しました。平成28年、法科大学院在学中に司法試験予備試験に合格し、今年、司法試験に合格しました。

大学院在学中は、市内のコールセンターに契約社員として勤務していました。午前9時から午後4時まで勤務した後には大学院に登校し、終電まで勉強して帰宅する、という生活を続けていました。苦労しましたが、会社の同僚や家族の応援、大学院の先生・先輩方のご指導のおかげで、司法試験に合格することができました。ありがとうございました。

北海学園大学法科大学院は、今年度から新規入学者の募集を停止しました。しかし、北海道の法的サービスを充実させるという本学法科大学院の理念を実現するために、より多くの北海学園生が司法試験に合格することを願っています。

現在、司法試験を受験するためには、原則として、法科大学院を卒業しなければなりません。ただし、例外として、司法試験予備試験に合格するというルートが残っています。法科大学院に進学する時間的・金銭的余裕のない学生や、社会人でも、予備試験に合格すれば司法試験を受験することができるようになりますから、北海学園生にも、ぜひ積極的に挑戦していただきたいと思っています。

今後、私は、弁護士となって、法的な問題で困っている方々のために、誠実に働きたいと考えています。その日々の積み重ねが、結果として、地域社会、とくに北海道の法的サービスの充実につながると思いますが、北海学園法科大学院の出身者としての誇りを忘れず、日々精進したいと考えています。

たくさんの支えに感謝

平成26年度 標準未修者コース修了 野村 由希子

平成27年3月に北海道大学大学院法務研究科を修了し、今年3度目の挑戦で司法試験に合格することができました。本研究科は、本年度を最後に入学生の募集停止が決まってしまい残念ですが、これまで学習の機会と場を与えていただいたことに感謝しています。

私は札幌旭丘高等学校を卒業後、同志社大学文学部英文文学科で英米文学を学びました。大学卒業後も法律とは縁のない仕事に就きましたが、会社勤めをしていくうちに、手に職をつけて定年に関係なく働き続けたいという思いが芽生えました。そして、法律の専門家として活躍する弁護士の仕事に魅力を感じ、難関とされる司法試験に挑戦してみたいという気持ちもふつと沸いてきました。そこで一念発起し、大学院への進学を決めました。

入学当時は法律知識ゼロからのスタートで、まず法律用語を理解するのに苦労しました。まるで外国語を初めて勉強するような感覚です。

それでも、本研究科の先生方は丁寧な指導をくださり、大学院修了後も、通常の講義とは別に、問題演習を主としたゼミに相当な時間を割いてくださいました。

また、本研究科OBの弁護士を講師とするゼミも開催され、そこでは、より実践的な答案の書き方を学ぶことができました。さらに、受験期間中の終盤には、目標を同じくする仲間と答案をひたすら添削し合う自主ゼミを組み、腕を痛めてしまうほど論文を書き続けました。

合格までの道のりは険しく、体調を崩したり、不安に押しつぶされそうになったりした日も多々ありました。そうした日々の勉強についての質問や相談にこたえてくれた先生や仲間、励ましの言葉をかけてくれた家族や友人ら周囲の存在は、大きな心の支えとなりました。今はやっと、法曹界に入るスタート地点に立ったばかりですが、引き続き研鑽を積み、今度は私が困っている方の心を支える存在になりたいと考えています。

合格者の声

中井征夫さん73歳。今年9月に法学研究科政治学専攻から初となる博士(政治学)号を取得した。

論文テーマは、「芸術文化主導の自治体政策―『自信の窓』が開くときを求めて―」。北海道内の各自治体が人口減少で深刻な社会経済問題を抱えるなか、中井さんは突出した芸術文化政策が他の政策の底上げにつながるのではないかと考え、「これを『自信の窓』として、写真のまち」東川町、「美術館のまち」美瑛市、「演劇のまち」富良野市の3つの市町の

比較研究を行った。中井さんは「自信の窓」の分析に不可欠な年表づくりを精力的に取り組んだ。新聞は地域版まで全て集め、週末は現地へ行って調査という生活を約3年間続けた。修士課程時代から研究をしている東川町においては7年以上にもなるという。とにかく、地道に徹底的に

す。(移動は苦にならないです。気分ランランって感じですね) 年代記分析(11年表づく)から、論文では「自信の窓を開くために、外部人材、協働性、経済性、市民の支持等が条件になるが、必ずしも芸術文化政策の成功が他の政策にポジティブな影響をもたらすわけではない」とい

に進学。そして、69歳で本学へ。本学大学院入試にあたっては1年間、英語の猛勉強を行ったという。

北海道出身の中井さんは在職中に全国各地で勤務した。道外に出てみて、北海道にいた時はあまり見えなかったことが見えるんです。人口減少などが続き、各市町村もさびれてくる心配がありました。何とか元気にしたいなど。この思いが、中井さんの学ぶ意欲の源だ。

指導教員の樽見教授の研究室では、年代を超えて議論した。「若い人たちの活力を分けてもらいました。前向きな意見に助けられ、楽しかったですね」と振り返る。今後は「追跡調査で、まだ誰も取り上げていない新しい町の調査をしていきたい」。73歳の探究心は衰えを知らない。

第44回法学部カフェが10月30日、31番教室で開かれた。テーマは「学食で難民について考える」。話し手は北海道教育大学函館校で社会福祉学が専門の森谷康文准教授、聞き手は本学法学部・館田晶子教授、本学法学部3年・川村太一さん。前回に引き続き170名以上の参加者があった。

森谷先生は、日本で生活する難民・難民認定申請者について、2016年、日本における難民申請件数は1万人を超えたが、難民認定されたのは28件。また、難民申請者への公的支援は生活保護費と比較しても低く、厳しい水準だ。という。館田教授は「難民認定の厳しい要件、法的な手続きが妥当か、認定の仕組みを動かす人がきちんと理解して運用をしているかが重要なポイント」と述べた。

また、難民の家庭料理を学食で提供して支援するプロジェクト「Meal for Refugees」の活動を行っている川村さんは、10月30日から約5日間にわたり、Gカフェでフレンチというウクライナ料理を提供する企画を実施。「難民のことをしっかり理解してほしい。そして、自分のこととして考えてほしい」と訴えた。

「食はいつだってのようなか、そのことによって」

週刊東洋経済などの紙面で「書評」の対象となり、朝日新聞、日本経済新聞でも紹介されるなど、好調な滑り出しでした。そして本年4月には、水産問題に関連した類書が多い中で秀逸な作品だったとして「2016年度水産ジャーナリストの会大賞」(水産ジャーナリス

トの会、7月には衰退する魚食文化の変化を明快に捉えているとして「第8回辻静雄食文化賞」(辻静雄食文化財団)の受賞候補作となり、結果、栄えある賞をいただきました。

本学に着任してからは、地域経済論を担当です。ですので、以上のような趣味的な書き物に関する話を授業では全くしていません。おそろくほとんどの学生さんは出版のことなどを知らないと思います。ただ、ゼミでは「暮らし」や「仕事」に関連したことを勉強していますので、いつか本作のような「食」の問題については触れていきたいと思っております。もし関心がありましたら、是非一読していただければ嬉しく思います。

出版物として特にヒット作品という訳ではなく、増刷には至っておりませんが、私自身の言論が一定の評価を受け、かつ、出版物の流通によって部分的でも世に広がったことは喜ばしいことで、「物書き」として生きてきた甲斐を感じております。

『魚と日本人 食と職の経済学』 岩波新書 2016年



中井 征夫 平成29年北海学園大学大学院法学研究科政治学専攻博士(後期)課程修了。博士(政治学)

詳しく調べあげるのが中井さんのスタイル。時には、事前のアポイントなしで町長に話を聞きに行ったことも。「自分の足で確かめに行くと、報道されていない内情も聞けることがあるので

中井さんは、高校卒業後農林水産省に勤務し、在職しながら36歳の時に通信教育の短大に入学、退職後、系列校の大学に編入し、66歳で札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科修士課程



右から本学法学部・館田晶子教授、北海道教育大学函館校・森谷康文准教授、本学学生・川村太一(法学部3年)

学食で難民について考える

学食で提供して支援するプロジェクト「Meal for Refugees」の活動を行っている川村さんは、10月30日から約5日間にわたり、Gカフェでフレンチというウクライナ料理を提供する企画を実施。「難民のことをしっかり理解してほしい。そして、自分のこととして考えてほしい」と訴えた。



経済学部教授 濱田 武士

魚職が支える日本の魚食文化

週刊東洋経済などの紙面で「書評」の対象となり、朝日新聞、日本経済新聞でも紹介されるなど、好調な滑り出しでした。そして本年4月には、水産問題に関連した類書が多い中で秀逸な作品だったとして「2016年度水産ジャーナリストの会大賞」(水産ジャーナリス

トの会、7月には衰退する魚食文化の変化を明快に捉えているとして「第8回辻静雄食文化賞」(辻静雄食文化財団)の受賞候補作となり、結果、栄えある賞をいただきました。

本学に着任してからは、地域経済論を担当です。ですので、以上のような趣味的な書き物に関する話を授業では全くしていません。おそろくほとんどの学生さんは出版のことなどを知らないと思います。ただ、ゼミでは「暮らし」や「仕事」に関連したことを勉強していますので、いつか本作のような「食」の問題については触れていきたいと思っております。もし関心がありましたら、是非一読していただければ嬉しく思います。

『魚と日本人 食と職の経済学』 岩波新書 2016年

学園人脈記

第2回

彩木雅夫氏

経済学部経済学科 昭和30年度卒・3期生



が120万枚、殿堂まきんがス「なみだの操」が50万枚など、ヒット作・代表作は数知れず。歌謡界のヒットメーカーにして大御所作曲家として有名な存在だ。

意外なことに、音楽業界で活躍する本学OBは少なくない。例えば、有名なフォークデュオ・ふきのとうの山木康世氏(工学部卒)や細坪基佳氏(経済学部中退)、あるいは、音楽プロデューサーとしてマルチに活躍する鳥谷好位置氏(経済学部卒)ゆず、Superflyなどへ楽曲提供・プロデュースや、丸谷マナブ氏(工学部卒)AKB48、乃木坂46などへ楽曲提供などがある。

前回登場した宮崎文彦さんから、「最も成功を収めたOBの一人」と紹介いただいたのが彩木さんである。

1969年、内山田洋とクール・ファイブのデビュー曲として発売されたこの曲は、150万枚のメガヒットを記録。今も根強いカラオケの人気曲であるばかりか、最近では長崎出身の俳優・ミュージシャンの福山雅治によってカバー・アルバム『魂リク』されるなど幅広い年代に親しまれている。この曲の作曲者が彩木さんなのだ。

また、森進一の「命かけても」「花と蝶」がどちらも100万枚をセールス、クール・ファイブ「逢わずに愛して」

自由闊達な学園の風 全身に浴びて

のが「先端切ったやり手」で旅館や食堂経営にも乗り出し、ゆくゆくは後継ぎとして道内初の4年制私大として開学した本学経済学部に入學した。「でも入学後は音楽ばかり(笑)。カフエの頃から、流しのおにちゃんが入りしてたから音楽がいつも身近にあったね」

2年次には軽音楽部を創設し、バンドを結成。さらに、すすきのキャバレーでアルバイトしながらギターリストとしての腕も磨いた。

作曲家デビューは、北海道放送(HBC)入社後の1966年。自作のギター演奏を吹き込んだテープをレコード会社に持ち込み、ジャッキー吉川とブルー・コメッツ「愛の終りに」が発売された。その後はミリオンヒットが続出し、HBCの社員ながら、社長以上の年収を稼いでいたというの有名な話だ。

近年、彩木さんが心血を注ぐのが「初音ミク」である。歌声合成ソフトによるバーチャルシンガーに彩木作品を歌わせるユニークな試みが大反響を呼び、ニコニコ動画への投稿では10万アクセスを超える殿堂入りを果たした。「こんなじいじの作った曲が、若い人が大反響を呼び、ニコニコ動画への投稿では10万アクセスを超える殿堂入りを果たした。『こんなじいじの作った曲が、若い人が大反響を呼び、ニコニコ動画への投稿では10万アクセスを超える殿堂入りを果たした。』」

彩木さん、84歳にして切り拓く新たな境地である。プロフィール 本名・新居一芳。1933(昭和8)年帯広市生まれ。1956年、経済学部経済学科卒業(3期)。1958年、北海道放送入社。1968年、楽曲管理会社ミュージックキャップ・トーキー設立。1975年、北海道放送を退社し、翌年、番組制作会社ミュージックキャップ・サポロ設立。発売コードは200曲以上を超えるほか、エフエム北海道取締役などを歴任。本学の入学・卒業式で歌われる新学生歌「北の都にも作曲した。



校舎建築資金募集のための演奏会を開催。ギター演奏する学生時代の彩木さん(1954年)

初めに、今年度開催された、第99回全国高等学校野球選手権大会出場に際し、身にあまるご声援をいただき、厚くお礼申し上げます。

3年前の本校着任から、硬式野球部の責任教師として関わり、甲子園出場を果たしたことは、一生の財産です。これまでスポーツ系の部活動の顧問を担当したことはありませんでしたが、甲子園出場経歴を持つ、硬式野球部の顧問であることに、大きな戸惑いがありました。技術指導ができない私に何ができるのか、色々と悩みました。まずは、選手と同じ空気を吸うことから始めよう、という思いで、毎



めようと、毎日グラウンドに足を運びました。私の想像していた選手イメージと違い、穏やかで優しい選手ばかりで、野球経験ゼロの私の話もしっかりと聞いてくれたことに驚きました。私は、監督・選手が野球に集中し最高のパフォーマンスが

文武両道を貫き甲子園へ

出来るよう環境作りに徹することを目指してグラウンドに行きました。

選手たちは、本校の校訓である、「志ある者は、事ついに成る」を胸に、文武両道を掲げ、野球部伝統である、11月から2月までの4カ月間バットを鉛筆に持ち替え、各種資格取得や受験勉強に打ち込むモードに入ります。この取り組みについて、多くの



「もともと中学時代の修学旅行がきっかけで、私が旅行会社への就職を志望した動機なんです」

田中さんは平成17年に名鉄観光サービスに入社。主に教育旅行課という部署で、札幌市内の小中高校の修学旅行を企画・実施してきた。平成26年に係長に昇進以降は、アウトセールス(営業)の第一線から離れたものの、今も内勤の立場から営業をサポート

志望動機も面接も自分らしく

することも多く、「さまざまな場所を旅行し、多くの人と出会えることが、この仕事の喜びです」と語る。

とはいっても、旅行業界といえど、当時の人気職種。大学3

名鉄観光サービス株式会社札幌支店業務課 営業係長 田中 佳織 人文学部英米文化学科 平成17年度卒・10期生

現在の会社との出会いはOG訪問をしたのがきっかけだったという。「1学年上の先輩でしたが、とても素敵な人で、また社内の雰囲気も



滝川西高校野球部

平成29年度 浅羽祭挙行

学校法人北海学園主催による平成29年度浅羽祭が10月23日、本学4号館10階第3会議室において厳粛に執り行われた。浅羽祭は、北海学園創立功労者である浅羽靖先生(1854~1914)のご命日に、浅羽先生をはじめ物故された歴代の理事長、学長、校長、さらに、この1年間に逝去された教職員及び学生・生徒のご冥福をお祈りしている。



出席したご遺族および関係者

平成29年度 豊平会総会・懇親会「同窓の夕べ」

同窓会(豊平会)総会・懇親会(同窓の夕べ)が10月28日、札幌パークホテルで開催された。

総会に先立ち全国支部長会議が開催され、懇親会には約800名の同窓生が出席した。本学YOSAKOIソランチーム絆・I・K・Iの演奏や、爆音戦隊ドリフトクイーン、恒例の学園グレイトビンゴで盛り上がり、今年も盛大な同窓の夕べとなった。



同窓会新支部「江別支部」支部旗披露

第10回 ホームカミングデー

第10回ホームカミングデーが10月7日、豊平キャンパスで開催された。

「北の住まいと暮らしを築園にかえるカフエ」と題した



学園かえるカフエ。右から建築家・赤坂真一郎氏、建築家・藤島喬氏、タレント・ロシア語通訳のブズドゥガン・アリヨナナ氏、聞き手の本学工学部・米田浩志教授



「北海マルシェ」は今年も大盛況

年明けに行われる一般入試やセンター試験利用入試の出願においても、この傾向が続くことに期待したい。

12/2(土)
13:00~
豊平キャンパス
6号館3階

特別入試出願状況（推薦、社会人、留学生他）

入試年度	1部計	2部計	合計	前年度比
H28年度	374	170	544	—
H29年度	385	199	584	107.4%
H30年度	394	174	568	97.3%

また同時並行で、「個別相談会」も実施しました。その際、成績に関するご相談や卒

札幌市主催「オリンピック・パラリンピックを考え
るのかという「つながり」を
テーマに実施している。



米田研究室メンバー(学年・五十音順):大学院修士2年/河中宗一朗、吉田昂平、学部4年/岩木智穂、加藤弦生、茂泉悠希斗、谷浦脩斗、納屋漉一、英まさみ、松尾彩菜、松本蒼志、三浦拓也



オリンピック・パラリンピックを考えるコンテストで優秀賞を受賞した作品



北の住まい住宅設計コンペ
最優秀賞作品「額縁に住む」

参加人数は、留学生8名
一般学生28名、職員3名。登
別伊達時代村にて江戸時代



江戸時代の文化に触れた登別伊達時代村にて



登別マリンパークニクスにて

保護者懇談会の前日、会場において受験生を対象とした「ミニオープンキャンパス」を開催した。全体説明や学部相談会、推薦入試対策講座、OBによる講演会などを行い、会場は活気に溢れた。

ミニオープンキャンパスには直に情報を得ようと、遠方からも高校生が参加。保護者懇談会と同時開催により多くの保護者も来場し、ゆとりと相談できるというところで毎年好評を得ている。

北の住まい
住宅設計コンペ
最優秀賞

第42回「北の住まい住宅設計コンペ」の最終審査が9月に行われ、河中宗一朗さん（大学院修士課程2年・米田研究室）が最優秀賞、渡邊寛成さん（工学部建築学科2年）がベスト10に入賞した。

学
長
室
訪
問

▽8月1日 株式会社ベネッパコーポレーション 営業開発部 高大橋純彦 営業クルー
1人 ユー・高田能氏 株式会社進研 同営業本部
北海道支社長 河野政次 同社 昼島伸也氏
▽9月8日 北海道島取県人会長 長川桂子氏
▽9月12日 株式会社ベネッシーキャリア
代表取締役社長 原野司郎氏 同教育事業本部
東日本営業部長 風間直樹氏 同北海道支
社上ヶ島純一氏

平成30年度 入試日程

一般入試・大学入試センター試験利用入試・社会人特別入試Ⅱ期

※詳細は募集要項でご確認ください。URL <http://hgu.jp/>

一般入試と大学入試センター試験利用入試					一般入試は全学部、大学入試センター試験利用入試のⅠ期は1部の全学部と人文学部2部で実施。Ⅱ期は経済学部2部を除く全学部で実施。													
大 学	学 部	学 科	試験日		出願期間		合格発表											
			一般入試	センター 利用入試	一般入試	センター 利用入試	一般入試	センター 利用入試										
	* 経済学部 (経済学科・地域経済学科)		2/9 (金)	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	【郵送受付】 1/4 (木)～1/29 (月) 消印有効	Ⅰ 期 1部の全学部と 人文学部2部で実施。	2/24 (土)	Ⅰ 期 2/24 (土)										
			2/10 (土)															
	経営学部	経 営 学 科	2/10 (土)						本学での 個別学力 試験は行 いません	【窓口受付】 1/4 (木)～1/30 (火) 午後4時締切	Ⅱ 期 経済学部2部を除く 全学部で実施。	2/24 (土)	Ⅱ 期 3/17 (土)					
		経営情報学科	2/11 (日)															
	* 法 学 部 (法律学科・政治学科)		2/11 (日)											1/13 (土)	【窓口受付】 1/4 (木)～1/27 (土) 正午締切	Ⅲ 期 経済学部2部を除く 全学部で実施。	2/24 (土)	Ⅲ 期 3/17 (土)
			2/12 (月)											1/14 (日)				
	人文学部	日本文化学科	2/12 (月)	【郵送受付】 2/13 (火)～3/8 (木) 消印有効	Ⅳ 期 経済学部2部を除く 全学部で実施。	2/24 (土)	Ⅳ 期 3/17 (土)											
		英米文化学科	2/9 (金)															
工 学 部	社会環境 工 学 科	2/10 (土)	【窓口受付】 2/13 (火)～3/9 (金) 午後4時締切					Ⅴ 期 経済学部2部を除く 全学部で実施。	2/24 (土)	Ⅴ 期 3/17 (土)								
	社会環境 情報学科	2/11 (日)																
	建 築 学 科	2/9 (金)																
	電子情報工学科	2/10 (土)																
	生 命 工 学 科	2/11 (日)																

社会人特別入試【Ⅱ期】

大学	学 部	学 科	出願期間	試験日	合格発表
	* 経済学部 2 部	経 済 学 科 ・ 地域経済学科	【郵送受付】 2/13 (火)～2/20 (火) 消印有効 【窓口受付】 2/13 (火)～2/21 (木) 午後4時締切	3/3 (土)	3/16 (金)
	経営学部 1 部	経 営 学 科 ・ 経営情報学科			
	経営学部 2 部	経 営 学 科			
	* 法 学 部 2 部	法律学科・政治学科	面 接 方 式 小論文方式		

※経済学部・法学部は「学部」単位での募集とし、学科は1年次末に決定します。

吹奏楽団 初の全国大会で銅賞

全日本吹奏楽コンクール銅賞受賞を喜ぶ団員

まて北海道からは、札幌大学、北海道教育大学函館校、北翔大学が出場してきました。私自身も社会人バンドでフレイヤーとしての出場経験はありますが、指揮者での出場は初めてで、団員共々本当に良い経験をさせていただきました。

この大会のステージに登れるのは55名です。もうありますが、次年度のこの大会に向けて頑張ってほしいと願っています。今後は、この経験をもとに一段と魅力的な音楽を届けられる吹奏楽団を目指していければと思っています。また私自身もアマチュア吹奏楽愛好家として、さらに精進していきたいと考えています。

そして、今回の全日本大会遠征に関しては、大学関係



受賞を報告した福山生団員(人文学部3年写真左)と河井裕司常任指揮者(右)

学長より表彰状

者、OBより温かい寄付をいただきました。応援してくれた皆々様に感謝を申し上げる次第です。これからも吹奏楽団の活躍を温かい目で見守っていただきますようしくお願いいたします。

（常任指揮者 河井裕司）